

責任をもって最後まで飼う!



ペットを飼う人は年々増えており、その理由や種類も様々です。

ここ数年目立つのが、定年後のお父さんが運動の相棒として大型犬を飼い始めるケースや、「犬猫の面倒は大変だから鳥でも飼おうか…」と、インコなどの鳥を飼い始めるケース。

また、手頃な大きさの可愛いペットとして、ティーカッププードルやカニヘンダックスフンド、豆柴の他、ミニウサギ、ミニブタなどが好まれる傾向があります。

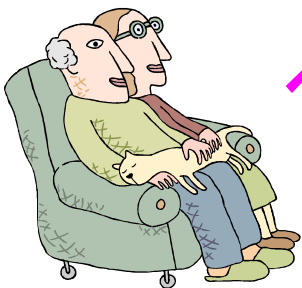
しかし、大型犬は力が強く体力的にも負担が大きいもの。また、インコなどの小鳥は種類によっては人より長生きします。定年後に飼い始めた場合、自分の体力や寿命を考えると…。どうでしょう、最後まで世話をすることができますか？

小型を求めて選んだ動物でも、「ミニ」でとどまるとは限りません。その動物本来の大きさを知っていますか？

小さく可愛い時期はほんの一時です。

お子さんのために飼い始めたとしても、動物の世話などは子供に任せきりにせず、大人も責任を持つ必要があります。

どんな動物でも、ペットとして売られたり譲渡されたりしている以上、「自立して生活することはできない」、「飼主(人)の手助けが必要な生き物」だということを、肝に銘じて飼って下さい。また、その動物の習性や寿命をよく勉強し、自分の年齢や生活環境、経済状況と照らし合わせて、きちんと最後まで飼い続けることができるのか、飼う前によく考えてみて下さい。



ペットが幸せな生涯を過ごせるかどうかは

飼主さん、あなたにすべてかかっています！